

# なかとんべつ 町議会だより

Volume

# 155

平成19年5月25日発行

初議会で正副議長選出、議員8人体制スタート  
定数減で役職かけもち一人四役も



中頓別探検隊「野鳥の観察会」 野鳥 見えるかなあ…?? あっ いたいた!  
中頓別小学校 総合的な学習の取り組み (藤井 ふるさとの森)

## 第2回臨時会

新議員の顔ぶれ……………	2
議長あいさつ・議会構成……………	3
議員研修会報告・あとかき……………	4

発行 中頓別町議会  
編集 議会広報編集特別委員会  
お問合せ/北海道枝幸郡中頓別町172番地6  
tel (01634) 6-2244 (直通) / fax 6-1155

# 議長選挙で石神議員が当選 副議長は藤田議員に

## 第2回 臨時会

5月7日初議会で議会構成決まる！



統一地方選挙後の初議会となる平成19年第2回臨時会が、5月7日開かれ、正副議長のほか、各委員長、一部事務組合議会議員など、議会の人事構成が決定されました。

このうち正副議長選挙は投票で行われ、議長に石神議員が当選。引き続き行われた副議長選挙では、藤田議員が当選しました。

いきいきふるさと常任委員、議会運営委員の指名後、委員長の互選が行われ、それぞれ柳澤議員、星川議員が委員長に選ばれました。

一部事務組合議会議員の選挙は、議長による指名推せんで行われ、南宗谷衛生施設組合議会議員に、西原議員、村山議員を選出。南宗谷消防組合議会議員に西原議員、東海林議員が選出されました。

町長が提案者となる議員選出監査委員には、本多議員の選任に全会一致で同意。動議により、「議会広報編集特別委員会」が設置され、3名の委員による議会広報体制がスタートすることになりました。

いきいきふるさと常任委員長に柳澤議員  
議会運営委員長に星川議員を選出  
議員選出監査委員に本多議員

議員数ひとけた時代へ  
定数8人体制スタート

西原央騎 (にしはら・おうき)

32歳／無所属／1回

本多夕紀江 (ほんだ・ゆきえ)

55歳／日本共産党／2回

東海林繁幸 (しょうじ・しげゆき)

68歳／無所属／2回

村山義明 (むらやま・よしあき)

61歳／無所属／7回

星川三喜男 (ほしかわ・みきお)

52歳／無所属／3回

柳澤雅宏 (やなぎさわ・まさひろ)

54歳／無所属／3回

藤田首健 (ふじた・しゅけん)

66歳／無所属／4回

石神忠信 (いしがみ・ただのぶ)

66歳／無所属／8回

※氏名(議席順)・年齢(5月1日現在)・所属・当選回数

# 町民の声届く議会に

## 議長 石神 忠信



この度、統一地方選挙後の初議会におきまして、議員のみなさまからご推挙をいただき、三度、町議会議長の要職を担うことになりました。責任の重大さをかみしめると同時に、初心に返り、町民のみなさまの負託に応えるべく、声なき声に耳を傾ける議会でありたいと決意を新たにしております。

住民の直接選挙で選ばれる首長と議会は、共に民意の代表機関（二元代表制）として対等な関係に立ち、緊張感を保ちながら住民福祉向上のために競い合う立場にあります。

とくに、分権改革以降、議会には、行政の施策を監視・チェックする能力とともに、条例などを立法する能力が求められています。

改選を経て、議員数は8名に減少し、一人ひとりに寄せられた負託の重さを痛感しておりますが、今後とも少数精鋭に努め、分権時代に相応しい議決機関としての職責を果たしていきたいと存じます。

地方交付税の削減などで、町の行財政運営の舵取りは困難を極めています。野邑町長を先頭に行政と議会が互いに切磋琢磨し合いながら、町民にとって、「住んでよかった町づくり」を実現する必要があります。

どうか、町民のみなさまには、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして議長就任と議会を代表してのご挨拶と致します。

この度、統一地方選挙後の初議会におきまして、議員のみなさまからご推挙をいただき、三度、町議会議長の要職を担うことになりました。責任の重大さをかみしめると同時に、初心に返り、町民のみなさまの負託に応えるべく、声なき声に耳を傾ける議会でありたいと決意を新たにしております。

住民の直接選挙で選ばれる首長と議会は、共に民意の代表機関（二元代表制）として対等な関係に立ち、緊張感を保ちながら住民福祉向上のために競い合う立場にあります。

とくに、分権改革以降、議会には、行政の施策を監視・チェックする能力とともに、条例などを立法する能力が求められています。

改選を経て、議員数は8名に減少し、一人ひとりに寄せられた負託の重さを痛感しておりますが、今後とも少数精鋭に努め、分権時代に相応しい議決機関としての職責を果たしていきたいと存じます。

地方交付税の削減などで、町の行財政運営の舵取りは困難を極めています。野邑町長を先頭に行政と議会が互いに切磋琢磨し合いながら、町民にとって、「住んでよかった町づくり」を実現する必要があります。

どうか、町民のみなさまには、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして議長就任と議会を代表してのご挨拶と致します。

### 新しい議会構成

議長 石神 忠信

副議長 藤田 首健

#### 議会運営委員会

委員長 星川三喜男  
副委員長 村山義明  
委員 藤田首健  
委員 柳澤雅宏

#### いきいきふるさと常任委員会

委員長 柳澤雅宏  
副委員長 星川三喜男  
委員 西原央騎  
委員 本多夕紀江  
委員 東海林繁幸  
委員 村山義明  
委員 藤田首健  
委員 石神忠信

#### 議会広報編集特別委員会

委員長 本多夕紀江  
副委員長 西原央騎  
委員 東海林繁幸

#### 南宗谷衛生施設組合議会議員

西原央騎 村山義明

#### 南宗谷消防組合議会議員

西原央騎 東海林繁幸

#### 監査委員（議員選出）

本多夕紀江

## \*\*\*\*\* 議会を傍聴しましょう! \*\*\*\*\*

議会は、町民のみなさんの暮らしや福祉など、身近な問題を議論する「しゃべり場」です。議会の動きをあなたの目と耳で知ることは、明日の町づくりにつながる第一歩です。

第2回定例会は、6月6日に招集され、一般質問が行われます。

詳細は、議会だより臨時号「かけはし」でお知らせしますので、ぜひ傍聴におこしてください。

◆議会の日程、傍聴等に関するお問合せは、TEL 6-2244（議会事務局）へ。

## 第2回臨時会で決まりました

### 公平委員に高山さんを選任

前職の辞任に伴う公平委員会委員の後任として、高山哲也さん（43歳・字中頓別在住）の選任に同意しました。

### 専決処分5件を承認

専決処分とは、議会の権限に属する事項について、町村長が議会で代わって意思決定を行うことをいいます。通常、町村長が、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会の招集する時間的余裕がないことが明らかであるときに認められるものです。

第2回臨時会では、町長から5件の専決処分が報告され、いずれも承認されました。

#### ●承認第1号 平成18年度中頓別町一般会計補正予算 3月30日専決

特別会計への繰出金、各種基金への積立金を中心とした補正です。一般会計の歳入歳出総額は、37億1,309万8千円になりました。

#### ●承認第2号 平成18年度中頓別町知的障害者福祉事業特別会計補正予算 3月30日専決

本特別会計が平成18年度で廃止されるため繰越額をゼロにする必要があり、余剰金3百万円を一般会計に繰り入れる補正です。

#### ●承認第3号 平成18年度中頓別町老人保健事業特別会計補正予算 3月30日専決

支払基金からの交付金が平成19年度に交付されることになり、予算不足を一時的に補うため一般会計から繰り入れる補正です。

#### ●承認第4号 中頓別町税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の改正に伴い、個人住民税、固定資産税の控除・減額の規定が一部追加されたほか、町たばこ消費税が改正されました。

#### ●承認第5号 中頓別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税基礎賦課限度額を53万円から56万円に引き上げる条例改正です。



## 宗谷管内議員研修会に参加しました

宗谷管内町村議会議員研修会が、5月18日礼文町「ピスカ21」で開催され、全議員8名が参加。全国町村議会議長会事務総長・高田恒氏の講演「町村議会を取り巻く諸問題について」に耳を傾けました。講演では、とくに次の3点が重要と感じました。

①議長への臨時議会招集請求権付与、専決処分の要件の明確化、委員会制度の見直し等、地方自治法の改正により、地方議会制度の見直しがされ、議会の自主性が尊重される内容となったが、それに十分対応した議会運営がなされているか問われている。②新たな財政の取り組みとして、新型交付税が導入され、平成19年度から算定方法の抜本的な簡素化が図られた。がんばる地方応援プログラム「魅力ある地方」の取り組みと、その成果が交付税の算定に反映されるようになった。③夕張市は、財政状況を隠そうとする意識があり、破たんしてしまった。役所は当然、議会も知っていて当たり前、住民だけが知らなかった。前の人（市長）のミスリードを指摘（否定）しなければ再建はできない。財政再建団体となるか、ならないかは、赤字団体の意志（議会の議決）による。議員、議会に課せられた責務は重大である。

【報告者・東海林繁幸】

## あとがき

4月22日の統一地方選挙で、「どうか住みよい町に」との町民の願いを託され8人の議員が誕生しました。

改選の度に定数が減り、ついに一桁議会となり、気がかりはつきません。

議員数が減って町民の声が議会に届きにくくならないよう、私たち議員は、アンテナを高く掲げ、微弱な意見も受信できるようにしなければなりません。

これから夏至にかけて、一日ごとに日が長くなり、中頓別は、春本番から夏を迎えます。

夜明けと共に起き、日没を惜しむ暮らしは、田舎でしか味わえません。

季節のうつろいに身をまかせ、野山で山菜を採り、畑仕事やスポーツにいそしむ暮らしは、ささやかではあっても、幸福な時間といえるでしょう。

住み慣れた地域で、好きなことをしながら暮らす：当たり前の願いが叶えられる町であってほしいと思います。

わかりやすく親しみやすい「議会だより」をめざして編集委員一同、努力してまいります。

町民のみなさまのご意見等もお寄せいただければ幸いです。

ご愛読のほどよろしくお願い致します。

(本)